

「仙台市経済成長戦略2023」の体系に基づく 令和5年度 仙台市経済局の主要な取り組み

「重点プロジェクト5」

次世代放射光施設立地を最大限に生かす 「光イノベーション都市・仙台」

次世代放射光施設の利活用促進

※令和5年度組織改正により、産業振興課の一部は「スタートアップ支援課」「企業立地課」になります。
以下の各事業には令和5年度の課名を記載しています。

施策② 研究開発施設や企業の立地・集積の促進

- 企業立地促進（再掲）（一部）

112

事業概要

首都圏を中心とした都市型および研究開発型の企業に対し、本市のビジネス環境をPRするほか、事業所の設置に伴う新たな投資（資産取得、賃借等）に係る固定資産税等相当額を助成するとともに、新規雇用の内容に応じた加算助成により、本市への企業立地を促進し、地域経済の活性化や雇用創出を図る。

次世代放射光施設「ナノテラス」を中核として、企業や大学等の研究開発拠点等が集積するリサーチコンプレックス形成を推進する。

事業の詳細

首都圏企業等プロモーション他

- 誘致対象産業の情報収集と本市の立地環境や各種支援策の情報提供のため、首都圏等の企業との面談や本市HP等を活用した情報発信などのプロモーションを実施する。

企業立地PR事業

- 企業の立地事例や本市の優位性等に関する動画や記事などのコンテンツを制作し、各種メディアを活用して広く発信する。

リサーチコンプレックス形成推進

- ナノテラスの利活用が見込まれる国内企業等に対して、施設の活用方法や本市の立地環境・支援施策等をPRする誘致活動を実施する。
- 既存放射光施設における測定を通して放射光の有用性を知る機会を企業に提供する事業や、放射光専門家による技術的側面からの支援体制強化、リサーチコンプレックス関連企業への賃料補助による企業誘致促進等に取り組み、リサーチコンプレックス形成を目指す。

企業立地促進助成

令和4年度に交付申請のあった企業に対し助成金を交付する。

- ものづくり産業：34件、187,860千円
- 都市型産業：64件、293,700千円

【目標】

令和3年度～5年度の誘致による企業進出数：100件

【リサーチコンプレックスのイメージ】



施策③ 利活用促進に向けた普及啓発

- 次世代放射光施設関連産業振興

114

事業概要

地域経済への波及効果を最大限生み出す「光イノベーション都市」の実現を目指し、仙台・東北の企業の次世代放射光施設の積極的な利活用を促進する。

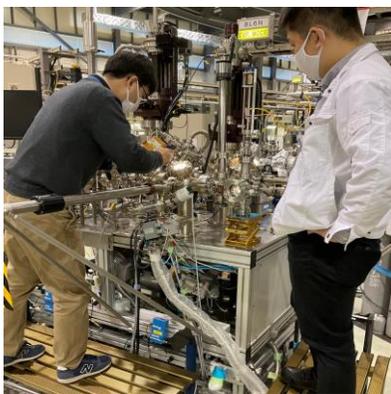
事業の詳細

トライアルユース事業

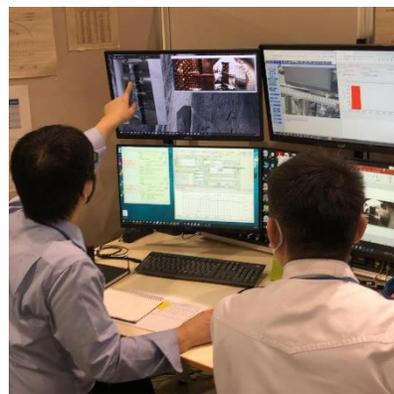
公募により選定された事業者が市と委託契約を締結し、提案内容についてSPring-8（兵庫県）など国内の既存放射光施設で測定を行い、事例報告書を提出する。

【目標】

採択件数：6件



測定作業の様子



普及啓発事業

次世代放射光施設の利活用に向けた普及啓発のため、トライアルユース事業により創出した事例を活用した事例集パンフレットの作成、採択事業者による事例報告会の開催等により、事業者等に放射光施設の産業利用可能性を認識してもらい、施設稼働後の施設活用の裾野拡大につなげる。



事例集パンフレット



オンライン事例報告会